

対象学年			
小学校		中学校	
低学年	中学年	高学年	全学年

## 草木染め



ササを使った草木染め

(左: 塩化第一鉄, 上: ミョウバン, 右: 酢酸銅, 下: 元の木綿生地)

### プログラムの概要

古来から人々は森からたくさんの恵みを得て生活してきました。木の芽や山菜を食し、木々を燃料に、落ち葉を堆肥にも活用してきました。また、昔、衣類の多くは、森の植物の纖維や生糸を取り出し、手作業で編んでつくっていました。つくった布を草木の根や茎、葉、花を煮詰めて、その煮汁の中で染める方法を考え出しました。それが草木染めです。草木染めでは布に色がよく定着するように媒染剤ばいせんざいというものを使いますが、この媒染剤の性質によって、同じ煮汁でも仕上がりの色が全く違った色あいになります。この活動はハンカチ等の布を草木染めする体験プログラムです。

所要時間:4時間

# 草木染め

## 1 活動のねらい

- ・草木染めをとおして、日本には古来から自然を生活の中に生かしてきたことを知る。
- ・植物や媒染剤の種類によって異なる発色を楽しむ。
- ・草木染めの行程を協力して行うことで、協調性を養う。

## 2 活動のフィールド

自然の家周辺の雑木林、ふれあい実習室

## 3 準備品

団体・個人で用意するもの：白色の木綿のハンカチか絹のハンカチ、草木などの染料、さらし布、ハサミ  
自然の家で用意するもの：草木染め用助剤（木綿使用時）、媒染剤（塩化第一鉄、酢酸銅、ミョウバン）、ホーロー製の鍋、洗面器、ざる、菜箸、ゴム手袋、白色トレイ

## 4 活動の手順

### 〈基礎知識〉

○纖維の種類…布の纖維には羊毛や絹などの動物纖維、木綿などの植物纖維、そして、石油等から作られる化学纖維があります。ここでは植物纖維を使います。植物纖維は染まりにくいので助剤を使用します。

○媒染剤…纖維を草木の煮汁に浸しただけでは染まりません。纖維に色素を封じ込める媒染剤に浸す必要があります。媒染剤とは金属を含んだ薬品で以下の3つを使用しますが、取り扱いには十分注意が必要です。

鉄媒染…塩化第一鉄

銅媒染…酢酸銅

アルミ媒染…ミョウバン（硫酸アルミニウムカリウム）

同じ染色液（煮汁）を使っても、媒染液によって染め上がる色は違ってきます。3種類の媒染液がどんな染め上がりの色になるか、ぜひ、試してください。

### ○媒染での留意点

- ・草木を煮て染色液を作るには、ホーローやガラス製の鍋を使います。鉄やアルミニウムの鍋を使うと、鍋そのものの金属が溶け出てしまい、媒染剤の働きをして本来の草木染めの色を出すことができません。
- ・媒染剤を入れる容器を種類ごとに決めておきましょう。容器をよく洗っても金属が微量ながら残ってしまい、本来の草木染めの色がでないことがあります。
- ・媒染剤をむやみに流して捨ててはいけません。自然の家の職員から指示のあった場所に集めておいてください。

### (1) 事前学習（自然の家に来る前の学習）

- ・特になし

## (2) 少年自然の家の活動

例としてササを染料に選びました。また草木染めの過程が分かるように、ピーカーや実験用ガスコンロを使用しました。

### ① 草木染めの染料となる植物を屋外に採りに行きます。

### ② 助剤処理

植物繊維の木綿を使う場合は、助剤に10分間ほど浸けておきます。



### ③ ごみ取り

染料となるササはゴミを洗い流します。大きな葉ははさみ等で半分に切るとよいです。



### ④ 染色液(煮汁)作り

ササの葉を鍋に入れて、ササが浸るほど水を加えます。加熱して、沸騰してからおよそ30分間煮つめます。



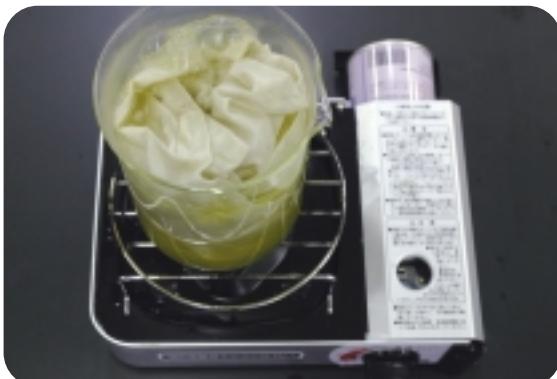
### ⑤ ろ過

洗面器の上にざるを載せて、さらし布を敷いて鍋の染色液(煮汁)をあけます。



### ⑥ 煮染め

⑤でろ過した染色液(煮汁)の中に②の布を軽くしぼって入れ、15分ほどホーロー鍋で煮ます。



### ⑦ 媒染

あらかじめ作っておいた媒染剤の中に布を20分間沈めます。写真は酢酸銅水溶液に浸している様子です。

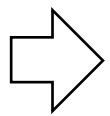


### ⑧ 煮染め

再び布を染料液（煮汁）の中に入れて、15分ほど煮ます。布を浸した媒染液によって、染色液や布の色が一瞬で変わります。



染色液



酢酸銅



塩化鉄



ミョウバン

### ⑨ 水洗い

流水でよく振り洗いをします。流れ出した水は薬品が多く混じっているため、なるべく大量の水でうすめてから流します。



### ⑩ 乾燥

干し上がったら、スチームアイロンをかけてしわを伸ばします。



### ふりかえりの活動 (次のような言葉掛けをして活動をふりかえると良いでしょう。)

- ・出来上がった草木染めハンカチを手にして、どんなことを思いましたか。
- ・他にどのような植物で草木染めをしてみたいですか。
- ・草木染めの他に、自然を利用して生活を楽しむ方法はありますか。

### (3) 事後学習 (学校に帰ってからの学習する内容)

- ・特になし

## 5 活動のまとめ

- ・植物の種類や媒染剤によって、どのような発色になったかハンカチを紹介し合いましょう。

## 6 留意点

- ・煮染めの時に火傷をしないように気をつけましょう。
- ・媒染剤などの薬品が目に入った場合は、流水でよく洗いましょう。違和感がある場合は、医師に診察してもらいましょう。
- ・媒染剤などの薬品を扱う⑥～⑧の活動は、ゴム手袋をして行いましょう。

## 7 参考文献 林 泣童：1997「草木で染める」社団法人 農山漁村文化協会

### ねらい別活動プログラム集「草木染め」

発行日：平成18年2月28日

発 行：独立行政法人国立少年自然の家 国立妙高少年自然の家

所在地：〒949-2235 新潟県妙高市大字関山6323-2

編 集：濁川明男（上越教育大学教授）

執 筆：浅山 景（柏崎市立教育センター科学技術教育班研究員）

：山田一誠（柏崎市立第二中学教諭）